

天井一夫教授 退任記念号の発刊によせて

敬愛する天井教授は、1967年4月に本学商学部専任講師として着任され、本年3月末まで34年に亘って本学に勤務され、無事定年退任されました。同時に、教授はその栄誉を讃えられ、本学名誉教授に推挙されました。

天井教授は会計学、特に管理会計の専門家であられ、学術論文、学会発表という研究業績を残されたばかりでなく、会計学のテキスト執筆にも力点を置かれ、教育者としての役割も十全に果たされています。学生に対しても、穏やかで親しみやすい笑顔で接せられ、多くのゼミ生を輩出されました。

天井教授が就任された1960年代後半は、本学の揺籃期であり、数々の乗り越えるべき課題が山積していた時代でありました。そのような状況の中で、天井教授は就任5年目でまだ助教授のうちから学生部長という大役を引き受けられ、本学の土台作りに貢献されています。さらに、就職部長を3年、入試実行委員長を2年、学長選挙管理委員長を1年、大学評議員を2年と重職を歴任されました。このことは、教授の温かなお人柄と人事管理能力が存分に発揮された出来事と理解できるであらう。

大学は今、戦後最大の激変期を迎えています。戦後のいわゆる新制大学制度が根底から揺らいでいるのです。本学も例外ではなく、危急存亡のときを迎えています。このような時期であるからこそ、経験豊富で沈着な天井教授に指揮をとって頂きたいと思うのは私ばかりではないでしょう。今後は名誉教授という立場から、本学の発展のためにご指導ご鞭撻を賜りたいと念じています。

先生にはどうかご健康に留意され、益々のご活躍を願ってやみません。

2002年1月15日

流通学部長 神沢 正典